



第70回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会  
専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日時：2019年2月3日（日）10：00～17：30（受付開始9：30～）

○会場：横浜情報文化センター 6階 情文ホール

〒231-0021 神奈川県横浜市中区大通 11 番地

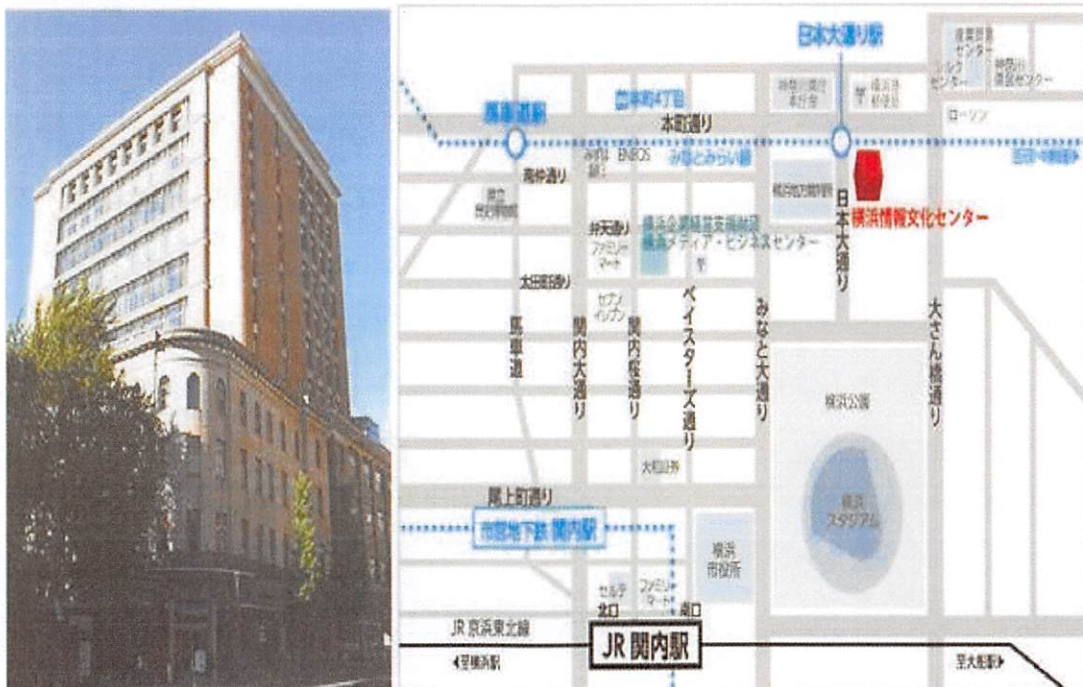
Tel 045-664-3737

JR「関内駅」南口から徒歩 10 分

横浜市営地下鉄「関内駅」1 番出口から徒歩 10 分

みなとみらい線「日本大通り駅」3 番出口から徒歩 0 分

○会長：中村 健（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学）



第70回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

会長：中村 健（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学）

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室

Tel/045-787-2713 Fax/045-783-5333 E-mail: ihatama3@yokohama-cu.ac.jp

○参加費等 ・地方会参加費 医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生無料  
・日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会 1 講演 1,000 円

○単位認定 ・地方会参加 10 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 10 単位)  
・日本専門医機構専門医は参加 2 単位(筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位)  
・生涯教育研修会 1 講演 10 単位(3 講演で 30 単位)

注)日本整形外科学会教育研修会はございません。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合も、スライドで表示してください。

## 参加者の皆様へ

プログラムは当日配布致しませんので、必ずご持参ください。

1. 受付にて参加費(医師 2,000 円、スタッフ 1,000 円)と引き換えに領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のための単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。認定臨床医受験資格取得のための単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。

## 一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法に関して
  - (1) 発表時間は 6 分、討論 2 分です。発表時間は厳守してください。
  - (2) 発表は PC を使います。スライドやビデオは使用できませんのでご注意ください。
  - (3) 発表データは、USB メモリ、CD-R、PC 本体のうちいずれかの様式でお持ち込みください。
2. 講演開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

3. USBメモリ・CD-Rをお持ち込みの方への注意事項

- (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて必ず行っておいてください。
- (2) ソフトは Windows 版 PowerPoint2010 または 2013 をご使用ください。  
※Macintosh をご使用の方はご自身の PC 本体を持参してください。
- (3) フォントは OS 標準のもののみをご使用ください。
- (4) 動画ファイルをご使用の場合、再生に問題のないご自身の PC 本体をお持ち込みになることを推奨します。

4. ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして必ず USB メモリ等をご持参ください。
- (2) プロジェクターとの接続ケーブルは Dsub-15 ピンです。PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずご持参ください。
- (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
- (4) 持ち込み PC のスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。

5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿

『演題名、演者名、演者所属、抄録(本文 400 字以内)』を作成し、デジタルデータとして 1 月 25 日までに事務局加藤宛(ihatama3@yokohama-cu.ac.jp)にご送付ください。

6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

**第70回日本リハビリテーション医学会  
関東地方会学術集会 プログラム**

---

**【一般演題：第1部】 10:00～10:40**

座長：金森裕一（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学）

---

1. 外来心臓リハビリテーションにより運動耐容能が改善した成人先天性心疾患の一症例  
横浜市立大学医学部リハビリテーション科学  
○原木 望、岡村正嗣、金森裕一、荒川英樹、野々垣学、中村 健
  
2. 左大腿骨切断患者に対し医学的リハの段階から復職支援と共に障害者スポーツの支援を行った一例  
神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科  
○熊谷裕美、立花佳枝、横山 修
  
3. 硬膜動静脈瘻例に対するリハビリテーションの経験  
日産厚生会玉川病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>  
日産厚生会玉川病院脳神経内科<sup>2)</sup>  
○日野太郎<sup>1)</sup>、日熊麻耶<sup>1)</sup>、斎藤和幸<sup>2)</sup>、和田義明<sup>1) 2)</sup>
  
4. ギランバレー症候群による両側顔面神経麻痺の2例  
伊勢原協同病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>  
東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学<sup>2)</sup>  
○原嶋 渉<sup>1)</sup>、小松典子<sup>1)</sup>、青野宏治<sup>1)</sup>、正門由久<sup>2)</sup>
  
5. 経皮血管内ステントグラフト内挿術(TEVAR)後の不全対麻痺に対するリハビリテーションの経験  
東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科  
○小山照幸、齊藤陽子、正田奈緒子、加藤貴行、金丸晶子

---

**【一般演題：第2部】 10:40～11:20**

座長：高内裕史（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科）

---

6. サーフィン経験者に生じた Surfer's myelopathy の1例  
神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科  
○立花佳枝、熊谷裕美、横山 修

7. 当院運動器リハビリテーション実施患者における身体計測値と退院帰結の関係

防衛医科大学校病院リハビリテーション部

○長尾陽子、小林龍生、尼子雅敏

8. 子どものロコモトリハビリテーション—子どもの運動器症候群について—

北本整形外科

○柴田輝明

9. 急性期病院における外出訓練の立ち上げ

独立行政法人国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>

東京都リハビリテーション病院医療福祉連携室<sup>2)</sup>

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学<sup>3)</sup>

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室<sup>4)</sup>

○朝倉めぐみ<sup>1)</sup>、大森まいこ<sup>1)</sup>、堀田富士子<sup>2)</sup>、櫛田 幸<sup>1)</sup>、益田結子<sup>1)</sup>、

藤原俊之<sup>3)</sup>、里宇明元<sup>4)</sup>

10. リハビリテーション専門病院における腫瘍性疾患の経験

千葉県千葉リハビリテーションセンター

○浅野由美、菊地尚久、飯塚正之、赤荻英理、米津彩子、中山 一、近藤美智子、

小澤理恵、吉永勝訓

<休憩>

---

【一般演題：第3部】 11:30～12:05

座長：高橋素彦（横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科）

---

11. 外傷性舌咽・迷走神経麻痺により嚥下障害が顕在化したびまん性特発性骨増殖症の一例

新横浜リハビリテーション病院

○刀川優一、松宮英彦、日野 健、太田 徹、渡邊 徹、久代裕史

12. 当院における摂食嚥下障害に対するリハビリテーション診療とその転帰

戸田中央リハビリテーション病院<sup>1)</sup>

帝京大学医学部リハビリテーション科<sup>2)</sup>

○山下達也<sup>1) 2)</sup>、西野誠一<sup>1)</sup>、岩間洋亮<sup>1)</sup>、齋藤明美<sup>1)</sup>、杉 徳臣<sup>1)</sup>、

白根雅之<sup>1)</sup>、佐藤信也<sup>1)</sup>、緒方直史<sup>2)</sup>

1 3. Streptococcus constellatus 敗血症に伴う電撃性紫斑病により四肢切断を要した1例  
－手術時期と機能予後について－

草加市立病院整形外科

○新関祐美

1 4. 乳癌骨転移に対するリバース型人工肩関節置換術後のリハビリテーション治療を経験した一例

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科

○戸谷秀太郎、田澤昌之、黒崎みのり、伊部洋子、和田直樹

---

【ワークショップ】 12:05 ～ 12:30

共催：社会福祉法人日本介助犬協会

---

「生きた補装具 介助犬と共に豊かに暮らすこととは」

1. 介助犬とは－その可能性と実際：介助犬デモンストレーションをまじえて

社会福祉法人日本介助犬協会 専務理事

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学 非常勤講師 高柳友子

2. 介助犬クウと暮らす楽しい生活

石井勝己（頸髄損傷者）&介助犬クウ

＜昼休憩＞

---

【一般演題：第4部】 13:30 ～ 14:05

座長：横井 剛（横浜市障害者更生相談所）

---

1 5. 股関節可動域改善目的にバランスボールを使用した小児の1例

新潟大学医歯学総合病院整形外科<sup>1)</sup>

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科<sup>2)</sup>

○村上玲子<sup>1)</sup>、遠藤直人<sup>1)</sup>、木村慎二<sup>2)</sup>

1 6. 青年期の二分脊椎症者への進路選択支援

川崎市れいぼう川崎在宅支援室

○齋藤 薫

### 17. 重度脳外傷未成年例の不登校への対応

東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座<sup>2)</sup>

○池田久美<sup>1)</sup>、渡邊 修<sup>1)</sup>、秋元秀昭<sup>1)</sup>、福井遼太<sup>1)</sup>、本田有正<sup>1)</sup>、安保雅博<sup>2)</sup>

### 18. 神奈川リハビリロボットクリニック (KRRC) の取り組み—先天性手欠損に筋電義

手の長期貸し出しを行い精神面にも大きな影響を及ぼした症例—

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科<sup>1)</sup>

神奈川リハビリテーション病院研究部リハビリテーション工学研究室<sup>2)</sup>

神奈川リハビリテーション病院医療相談室<sup>3)</sup>

○横山 修<sup>1)</sup>、熊谷裕美<sup>1)</sup>、立花佳枝<sup>1)</sup>、對間泰雄<sup>2)</sup>、丸田耕平<sup>2)</sup>、蒔田桂子<sup>3)</sup>

<休憩>

---

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演1】 14:10～15:10

座長：中村 健（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学 教授）

---

「股関節外科における低侵襲治療への取り組み」

神奈川リハビリテーション病院 病院長 杉山 肇

<休憩>

---

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演2】 15:20～16:20

座長：美津島隆（獨協医科大学リハビリテーション科学 教授）

共催：インターリハ株式会社

---

「リハビリテーション医療のための下肢義肢装具療法」

岩手医科大学医学部リハビリテーション医学科 教授 西村行秀

<休憩>

---

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演3】 16:30～17:30

座長：安保雅博（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学 教授）

共催：株式会社クリニコ

---

「タンパク質の動的平衡と活動を育むリハビリテーション医学」

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学 教授 田島文博